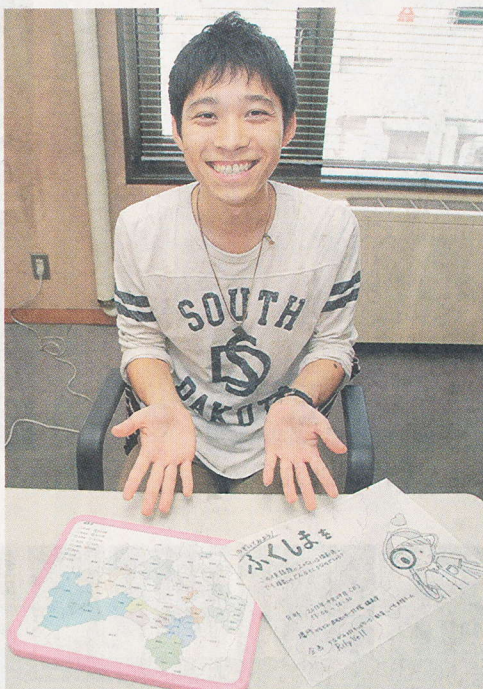


# 福島のこと、学ぼう

## 高校生向け勉強会

東京電力福島第一原発事故の風評被害が続く福島県の実情を学ぶため、高校生向けの勉強会が二十九日、横浜市内で開かれる。発案したのは同市南区の大学二年生、加藤周人さん(二〇)。今夏、福島県を訪ねる高校生のバスツアーを企画したところ、拒否する学校が相次いだ。そこで、高校生自身が福島県の現状を学ぶ場を設けることにした。

(新開浩)



高校生向けに福島県の勉強会を呼びかける加藤さん(神奈川県)

大学2年生の 加藤周人さん 29日、参加呼びかけ

横浜生まれの加藤さんは、両親が福島県いわき市出身。東日本大震災の直後、祖母がいわき市から横浜の自宅に避難した。

その影響で大学入学後の昨年九月、宮城県で被災地支援のボランティア活動に初参加した。十二月には神奈川県内などの高校と提携し、高校生二十人、先生六人と岩手県を訪ねるバスツアーを開催。現地の子どもや仮設老人ホームのお年寄

支援の

カタチ

かながわ

## 現状知り講演会も

りとクリスマスパーティーを開いて交流した。

しかし、今年六月に第二弾として企画したいわき市訪問のバスツアーは、学校側が相次いで難色を示した。原発事故による放射線の影響を懸念し「命の責任が取れるのか」と言われることもあった。

加藤さんは「まず福島の実況を高校生と一緒に確かめたい。私自身も高校生の不安を知らなければ」と痛感した。勉強会では、福島県内各地の放射線量を調べるほか、現地で視察会を企画するコーディネート者も招き、講演会も行う。

会場は横浜市神奈川区のかながわ県民センターで、午後一時～午後四時半。参加費三百円。問い合わせは、主催団体「かながわ311ネットワーク」(電話045(312)1121(内線4140))へ。